

平成21年2月12日

各位

会社名 株式会社ディースリー  
 代表者名 代表取締役社長 伊藤 裕二  
 (JASDAQ・コード4311)  
 問合せ先  
 取締役コーポレート本部長 小嶋 正樹  
 (電話番号 03-5428-8830)

### 平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年11月6日付当社「平成21年3月期第2四半期決算短信」において発表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成21年3月期 通期業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	15,000	650	550	50	2,380.39
今回修正(B)	13,500	△50	△800	△2,100	△99,976.20
増減額(B-A)	△1,500	△700	△1,350	△2,150	—
増減率	△10.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	14,286	1,069	414	293	13,962.80

※当社は、持株会社であり個別業績予想については開示を省略しております。

#### 2. 修正理由

世界的な金融不安に伴う景気後退、そして個人消費の落ち込みなど、当社を取り巻く経営環境は昨年末以降、更に厳しさを増しております。

当社の売上高につきましても、国内での新規ゲームソフトタイトルの販売数量の減少や北米での小売店等による在庫圧縮に伴う販売数量の減少等が見込まれる等、コンシューマ事業ではゲームソフト販売の全般的な売上の減少により、前回予想を下回り、13,500百万円となる見込みです。

利益面につきましても、全社的に経費の削減に取り組んでおりますが、売上の減少を補うまでには至らず、営業利益は前回予想から減少し、△50百万円となる見込みです。

また、前回予想時は当期末(平成21年3月末)の為替レートを1ドル100円で想定しておりましたが、急激な円高により第3四半期末(平成20年12月末)では1ドル91円03銭となり、当期末につきましても、想定レートを1ドル90円に変更し、通期での為替差損約600百万円の計上等を見込んでおり、経常利益につきましても、△800百万円となる見込みです。

当期純利益につきましても、上記のほか、繰延税金資産の取崩し等の影響もあり、当期純利益は△2,100百万円を見込んでおります。

### 3. 配当予想修正

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要な課題の1つとして位置付けて、経営基盤及び財務体質の強化を図りながら、当社を取り巻く環境及び業績の進展状況、配当性向等を勘案し利益還元を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の配当につきましては、1株につき2,600円の普通配当を実施する予定をしておりましたが、業績予想の修正に伴い、期末配当を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前予想 (平成20年11月6日発表)	円 銭 —	円 銭 2,600.00	円 銭 2,600.00
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	—	—	—
前期(平成20年3月期)実績	—	2,800.00	2,800.00

以 上